

## 第 3 章

### 支部総会・講演会

## まえがき

日本機械学会関東支部活動のなかでもっとも重要な活動は、各ブロックが一堂に会して行われる、関東支部最大の行事である、総会・講演会です。設立に際して設立総会が行われ、その後、各期ごとに総会が開かれてきました。第6期以降は、講演会が加わり、総会・講演会として規模を拡大し、開催されるようになりました。それぞれの総会、総会・講演会では、卒業研究発表会も同時に行われました。本章では、第6期以降の総会・講演会を、それぞれのご関係者の方々に振り返っていただきました。また、第2期総会からの思い出深い開催ポスターと一緒に掲載いたしました。

<設立総会>

日時： 1994 年 5 月 20 日

会場： 弘済会館

記念特別講演：

「アジアはどう動くか」

渡辺 利夫 （東京工業大学 教授）

<第 1 期支部総会（併催：関東学生会第 34 回学生員卒業研究発表講演会）>

日時： 1995 年 3 月 15 日

会場： 湘南工科大学

特別講演

「21 世紀のエネルギー供給」

平田 賢 （日本機械学会 会長）

緊急講演

「関東地方における地震時の地盤液状化の履歴と予測について」

若松 加寿江 （早稲田大学 理工学総合研究センター 客員研究員）

「阪神大震災における各種構造物の被害調査報告」

鈴木 浩平 （東京都立大学 教授）

< 第 2 期支部総会（併催：関東学生会第 35 回学生員卒業研究発表講演会） >

# 日本機械学会 関東支部総会

〔併催：関東学生会・学生員卒業研究発表講演会〕



- 日時：3月15日（金）／15:30より
- 会場：上智大学 理工学部（JR・地下鉄／四ツ谷駅前）

- 学生員卒業研究発表講演会  
（9:30～16:10）
- 日本機械学会関東支部総会  
（15:30～16:10）
- 特別講演（右記参照）  
（16:20～17:20）
- 懇親会（参加費／会員：3,000円、学生員：無料）  
（17:30～19:00）

## 特別講演

（16:20～17:20／聴講無料）

### マルチメディア時代の 製品開発戦略

—ザウルスはどのようにして生まれたか—

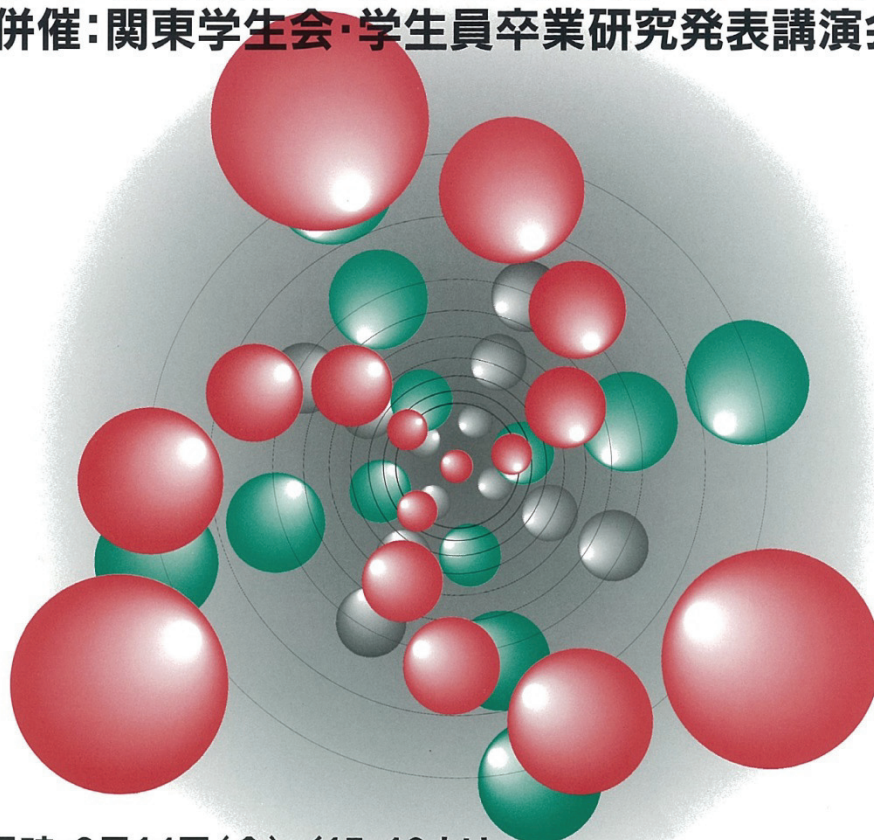
御手洗 顕 氏 株式会社シャープ  
取締役マルチメディア開発本部長

主催：（社）日本機械学会 関東支部  
〒160 東京都新宿区信濃町35  
（お問い合わせ先 ☎03-5360-3510 / FAX03-5360-3508）

< 第3期支部総会（併催：関東学生会第36回学生員卒業研究発表講演会） >

# 日本機械学会 関東支部総会

〔併催：関東学生会・学生員卒業研究発表講演会〕



◆日時：3月14日（金）／15：10より

◆会場：玉川大学 工学部（小田急線玉川学園前駅下車）

■学生員卒業研究発表講演会  
（9：30～15：50）

■日本機械学会関東支部総会  
（15：10～15：50）

■特別講演（右記参照）  
（16：00～17：00）

■懇親会（参加費／会員：3,000円、学生員：無料）  
（17：10～18：30）

## 特別講演

（16：00～17：00／聴講無料）

## エンジンの発展とロマン

鈴木 孝氏

日野自動車工業株式会社 技監

主催：（社）日本機械学会 関東支部

〒160 東京都新宿区信濃町35

（お問い合わせ先 ☎03-5360-3510 / FAX03-5360-3508）

< 第4期支部総会（併催：関東学生会第37回学生員卒業研究発表講演会） >

# 日本機械学会 関東支部総会

〔併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会〕



(1917年モデル)

- ◆ 日時：3月13日(金)/15:00より
- ◆ 会場：シャノン21(日野自動車21世紀センター) [JR横浜線八王子みなみ野駅下車]  
バス・トラックの博物館(無料)を併設  
八王子市みなみ野5-28-5 (案内表示あり)  
TEL. 0426-37-6600  
ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kt/sokai/>

- 学生員卒業研究発表講演会  
(9:30~15:50)
- 日本機械学会関東支部総会  
(15:00~15:50)
- 特別講演(右記参照)  
(16:00~17:00)
- 懇親会(参加費/会員:3,000円、学生員:無料)  
(17:10~18:30)

## 特別講演

(16:00~17:00/聴講無料)

あなたの力が社会を変える

西澤潤一氏 (前東北大学総長)

主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35  
(お問い合わせ先 TEL03-5360-3510/FAX03-5360-3508)

<第5期支部総会（併催：関東学生会第38回学生員卒業研究発表講演会）>

# 日本機械学会 関東支部総会

〔併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会〕

◆日時：3月12日(金) /15:00より

◆会場：千葉工業大学津田沼校舎6号館〔JR総武線津田沼駅南口下車〕  
習志野市津田沼2-17-1 TEL.0474-75-2111

- 学生員卒業研究発表講演会  
(9:30~15:50)
- 日本機械学会関東支部総会  
(15:00~15:50)
- 特別講演(下記参照)  
(16:00~17:00)
- 懇親会(参加費/会員3,000円、学生無料)  
(17:10~18:30)

特別講演(16:00~17:00/聴講無料)

鯨生態観測衛星システム  
林 友直(千葉工業大学教授)

主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35

(お問い合わせ TEL.03-5360-3510/FAX03-5360-3508)

松本零士「飛び出せ!宇宙へ」より

## 第6期総会講演会・第39回学生員卒業研究発表講演会 をふりかえって

実行委員会幹事  
小原 哲郎（埼玉大学）



関東支部第6期総会講演会および関東学生会第39回学生員卒業研究発表講演会は2000年3月16日（木）、原田正躬教授を実行委員長として埼玉大学で開催されている。卒研発表会については39回目を迎え歴史のある講演会になっているが、関東支部総会講演会としては初の開催であり、実行委員長はプログラム編成、会場設営など対応に苦慮したことと思われる。

総会講演会の特別講演は、本学加藤泰建教授に依頼し「古代アンデス文明の展開—物質文明と社会の発展—」と題して講演された。機械とは直接的な関わりの薄いテーマではあるが、アンデスのマチュピチュ遺跡に関する最新の研究成果について講演がなされている。総会講演会として7つのオーガナイズドセッションが構成され91件、卒研発表会では181件の発表がなされている。のべ633名の参加者があり、同時にパネルセッションやJR大宮工場の見学会も開催されるなど、1日のみの講演会としては盛り沢山の内容と言えよう。総会講演会として6室を工学部講義棟、卒研発表会として11室を共通教育A棟と呼ばれていた建物内に設定している。その他、支部総会、学生会総会、支部運営委員会等も開かれている。

当時は、現在のように液晶プロジェクターなどなく、OHPを用いた発表が主であった。生憎、共通教育A棟の講義室にはOHPすら備えておらず、工学部講義棟にあ

る機器を移動させて対応にあたっている。ビデオ映像を用いる発表もあり、ビデオデッキ、モニターなどをプログラムに沿って移動させたことを記憶している。発表申込みの段階でOHP以外に使用する機器の記載欄があり、プログラム編成の段階でも配慮する必要があった。現在では到底考えられないことまで対応する必要があった。講演室も18室と多いことから、57名のアルバイト学生を動員し、本学科のほとんどの教職員が対応にあたっている。もちろん、関東支部長、商議員を初め、本会事務の方の応援も頂き無事執り行うことができた。

最近になり、本学講義棟も改修工事等が進んでおり、発表機器についても充実しつつある。次回開催する際には2000年に開催されたものより立派な講演会になるものと期待している。

日本機械学会 関東支部  
総会・総会講演会  
【併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会】

◆日時：3月16日（木）  
◆会場：埼玉大学 [ 工学部講義棟講義棟7号バスにてF2025 ]  
浦和市下大久保255 TEL 048-858-3456,3433

- 関東支部総会講演会 (9:00~15:50)
- 学生員卒業研究発表講演会 (9:30~15:50)
- 日本機械学会関東支部総会 (15:00~15:50)
- 特別講演(右記参照) (16:00~17:00)
- 懇親会(学生員無料) (17:30~19:00)
- 見学会(JR大宮工場) (9:00~11:00)

特別講演  
(16:00~17:00(講演無料))  
古代アンデス文明の展開  
—物質文明と社会の発展—  
加藤泰建氏(埼玉大学教育学部教授)

主催：(社)日本機械学会 関東支部  
〒160-0015 東京都港区虎ノ門3-5  
(お問い合わせ先 TEL03-5360-3510/FAX03-5360-3508)  
後援：埼玉県、浦和市、埼玉大学創立60周年記念事業委員会



< 第 6 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 39 回学生員卒業研究発表講演会） >

# 日本機械学会 関東支部 総会・総会講演会

[併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会]



アンデス マチュピチュ遺跡 インカの「失われた都市」

◆日時：3月16日（木）

◆会場：埼玉大学 [ JR京浜東北線北浦和駅下車バスにて約20分  
またはJR埼京線南与野駅下車バスにて約15分 ]

浦和市下大久保255 TEL 048-858-3456,3433

- 関東支部総会講演会  
(9:00～15:50)
- 学生員卒業研究発表講演会  
(9:30～15:50)
- 日本機械学会関東支部総会  
(15:00～15:50)
- 特別講演(右記参照)  
(16:00～17:00)
- 懇親会(学生員:無料)  
(17:30～19:00)
- 見学会(JR大宮工場)  
(9:00～11:00)

## 特別講演

(16:00～17:00/聴講無料)

古代アンデス文明の展開

—物質文明と社会の発展—

加藤 泰建 氏(埼玉大学教養学部教授)

主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35

(お問い合わせ先 TEL03-5360-3510/FAX03-5360-3508)

後援：埼玉県，浦和市，埼玉大学創立50周年記念事業委員会

## 第7期総会講演会/第40回卒研発表講演会

実行委員会幹事（東京農工大学）  
亀田 正治



日本機械学会関東支部第7期総会講演会は平成13年（2001）年3月16日（金）、17日（土）の2日間、並行開催の第40回関東学生会卒業研究発表講演会は同年3月16日（金）の1日間の日程で、東京農工大学小金井キャンパス（写真）にて開催された。

本学では、当時工学部長であった西脇信彦先生を実行委員長、堤正臣先生を副委員長とする実行委員会を組織し、本機械システム工学科教員一同がセッションオーガナイザーなど何らかの役割を担う形で参画する体制を作って実施に取り組んだ。

総会講演会は、前年度から始まったばかりの行事であり、実施のルーティンがほとんど存在していなかった。そこで、IHIの斉藤忍当時支部長をはじめとする支部幹部の皆様が企画を立てて下さることとなり、実行委員会幹事の立場ながら、私が支部運営会の末席に加わって、皆様のお考えを拝聴することとなった。

本講演会の最大の目玉は、当時大いに話題になっていたソニーの犬型エンターテインメントロボット AIBO の開発者である、藤田雅博氏の特別講演が実施されたことであった。この講演は、当時の副支部長であった日本大学の背戸一登先生の肝いりで実現したもので、当日は約300名の聴衆が集まり、本会を盛り上げる素晴らしい企画となった。

講演会は206件の講演を2日間8室パラレルで実施した。参加登録者は450名、懇親会参加者は79名を数え、本講演会開催規模のメルクマールとなる結果が得られたように思われる。

並行開催の卒研発表講演会は、10室パラレルにて、171件の発表があり、参加登録者は312名の会となった。この講演会についても、第1回VPC（Visual Presentation Contest）の開催、学生優秀発表（BPA）賞の創設など、いまにつながる企画が始まったことが特筆される。

個人的には、先にも記した斉藤支部長、背戸副支部長だけでなく、本講演会を所掌する事業幹事であった東芝・渡邊裕、機械研・田中章浩の両氏を中心とする当時の支部幹部の皆様が、本講演会の成功を期して実に熱心に計画を立てて下さったことが強く印象に残っている。当時の支部幹部、実行委員会メンバーに改めて謝意を表します。



農工大・小金井キャンパス点景

# 日本機械学会関東支部 総会および講演会

[併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会]

日時 ▶ 2001年3月16日(金), 17日(土)

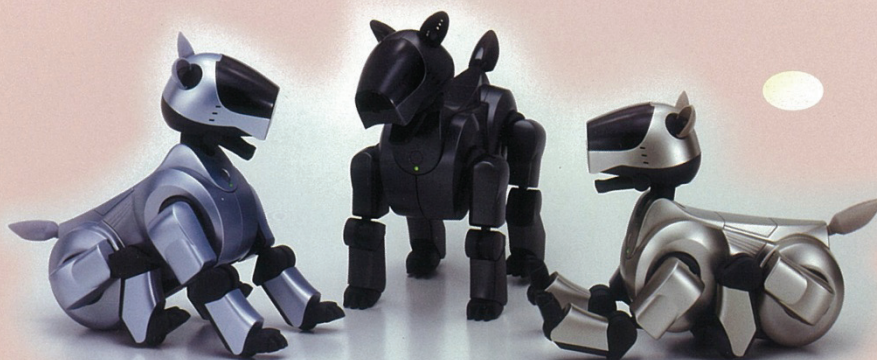
場所 ▶ 東京農工大学小金井キャンパス

JR中央線東小金井駅下車徒歩8分  
東京都小金井市中町 2-24-16  
TEL 042-388-7073 (当日のみ)

- 関東支部総会講演会：3月16日 9：30～17：00  
17日 9：00～17：20
- 学生員卒業研究発表講演会：3月16日 9：30～15：50
- 日本機械学会関東支部総会：3月16日 13：00～15：00
- 懇親会（参加費/会員3000円，学生員500円）  
：3月16日 17：30～19：00
- 特別講演（3月16日 16：00～17：00/聴講無料）

## エンターテインメントロボットの 開発と今後の動向

講師/藤田 雅博氏 (ソニー(株))



©2000 Sony Corporation  
"AIBO"はソニー株式会社の登録商標です。

主催：(社)日本機械学会関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35  
お問い合わせ TEL. 03-5360-3510  
FAX. 03-5360-3508

## 宇宙飛行士若田さんの特別講演の思い出

実行委員長（元日本大学）  
背戸 一登



### 1. はじめに

第 8 期総会講演会、卒業研究発表講演会は 2002 年 3 月 15 日、16 日の両日に日本大学船橋校舎で開催されました。開催地は地下鉄東西線の船橋日大前下車 0 分の所ですので、交通至便な場所でした。

講演会の特記事項として、今日宇宙飛行士として活躍中の若田光一さんの特別講演会を中心に思い出を綴らせて頂きます。

### 2. 総会講演会概要

総会 135 名、講演件数 249 で、講演会 570 名（通して最大）の参加者があり大変盛況でした。ワークショップは 6 件ありましたが、初めての試みとして JABEE 審査試行報告と新技術士制度の意義と今後の展望の講演がありました。中でも、土屋定之氏（文部科学省）の「新技術士制度の要点とその意義」に始まる 5 件の講演によって、JABEE と新技術士制度の新たな展開が始まったと言えます。

特別講演 2 件ありまして、1 件目は狼嘉彰先生（宇宙開発事業団）の「H-2A ロケット打ち上げ成功と今後の展望」、2 件目が若田光一さんの「国際宇宙ステーションと有人宇宙ロボティクス」でした。当時の若田さんは 38 歳の新進気鋭の宇宙飛行士で、宇宙ステーションに設置されたロボットアームの操作に掛けては第一人者でした。ご講演内容は宇宙飛行士の訓練内容とロボットアームの操作に関するものでしたが、ご講演終了と共に、嘗てどの講演会

にも見られなかった光景が起きました。2～30 名の学生達が壇上に向けて殺到したのです。若田さんのサインを貰うために。この特別講演会の参加者は過去現在を通して最大の 340 名でした。



若田光一さんのご講演風景



右から 3 人目より若田さん、著者、狼先生

### 3. あとがき

若田光一さんは 2013 年 11 月 7 日、ロシアのソユーズ宇宙船で国際宇宙ステーションの船長の任務に向け旅立たれ、ご承知のように世界的な著名人として大活躍されておられます。この特別講演会にお招きできたのは大変光栄に思っております。

<第8期支部総会・講演会（併催：関東学生会第41回学生員卒業研究発表講演会）>



## 日本機械学会関東支部 総会および講演会

[併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会]

2002年3月15(金)/16(土)

【場所】

日本大学理工学部船橋校舎 東葉高速鉄道 船橋日大前 徒歩0分

千葉県船橋市習志野台7-24-1

実施本部13号館1311室 TEL 047-469-5278 (当日のみ)

関東支部総会講演会：3月15日 9:30～17:00 / 16日 9:00～17:20

学生員卒業研究発表講演会：3月15日 9:30～15:50

日本機械学会関東支部総会：3月15日 13:00～14:30

懇親会 (参加費/会員3000円、学生員500円) 3月15日 17:30～19:00

【特別講演】

3月15日 16:00～17:20 聴講無料

**H-IIA ロケット打ち上げ成功と今後の展望**

講師/狼 嘉彰 (宇宙開発事業団技術研究本部技術総監 慶應義塾大学教授)

3月16日 13:00～14:20 聴講無料

**国際宇宙ステーションと有人宇宙ロボティクス**

講師/若田 光一 (宇宙開発事業団宇宙飛行士)

主催：(社)日本機械学会関東支部 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 お問い合わせ：TEL 03-5360-3510 FAX 03-5360-3508 URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 9 期総会・講演会の思い出

関東学院大学  
辻森 淳



第 9 期関東支部総会・講演会が、2003 年 3 月 14 日（金）、15 日（土）に関東学院大学で開催されることになった。それにともない、2002 年 6 月 7 日（金）に第一回関東支部総会運営委員会が開催され、その後、7 月 24 日（水）に関東学院大学内に総会開催実行委員会が組織された。これまでの実績から、総会出席予定者 100 名程度、総会講演会参加予定者 600 名程度、卒研発表会参加予定者 400 名程度、懇親会参加予定者 100 名程度を見込んだ。

まず、考えなければならなかったのは、講演会場の配置だった。一般講演、特別講演、卒研発表、その他の特別企画など、それぞれのセッションごとの人数を見積もり、教室の定員を見ながら配置した。使用した教室は、総会講演会用として 8 教室、卒研発表用として 12 教室、その他、本部、関係者控室などを含め 31 教室にもなった。本学金沢八景キャンパスのランドマーク的な校舎であるフォーサイト 21 が完成した直後であったため、教室数は十分あったものの、その配置にはいささか苦労した。

今では、学内のシステムのほとんどが電子化されているため、教室の定員や設備の状況（プロジェクター、スクリーン、OA 機器などの機材の有無）、教室の空き状況、教室予約まですべて端末操作でおこなえるが、当時は、一教室ずつ座席数や機材を調べて回り、一件ずつ会場を予約・確保した。10 階建ての校舎を上下に左右に何度動き回ったことだろう。

表 1 第 9 期総会・講演会講演件数

一般セッション	講演件数
機械力学・計測制御, 材料力学, 熱工学, 機械材料・材料加工, 流体力学・計算力学, 機械技術一般, 医療・福祉	68
オーガナイズドセッション	講演件数
環境調和型冷熱技術, 機械工学と人工臓器, アドバンスド・ロボティクス, バイオマスエネルギーの有効利用と環境保全, 実験力学と非破壊評価, 電磁力応用技術, 構造物の強度・剛性評価, 物体周りの流れの諸問題と可視化, トラクションドライブの基礎と応用, 耐震設計・耐震工学, 非線形振動・制御の新展開, 技術教育・工学教育, 機械技術史・工学史	133
VPC	8
WS	17

表 1 の通り、一般セッション、オーガナイズドセッション、VPC、WS など合計 226 件の研究発表と卒研発表があったものの、“案ずるより産むが易し”ということか、1000 名以上の来場者を迎えた第 9 期関東支部総会・講演会も、無事滞りなく終了することができたことを、当時の関係者の皆様に記して感謝申し上げます。私自身、このような大きなイベントの企画・運営に携われたことが貴重な経験となった。今でも、日々授業に向かう途中でフォーサイト 21 を見上げると、無心で走り回った半年間ではあるが、当時の記憶が鮮明に蘇り、機械学会と私の結びつきをより一層強めているように感じられる。

<第9期支部総会・講演会（併催：関東学生会第42回学生員卒業研究発表講演会）>



## 日本機械学会関東支部 総会および講演会

[併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会]

**2003年3月14(金) / 15(土)**

### 【場所】

関東学院大学金沢八景キャンパス 京浜急行、シーサイトライン[金沢八景駅] 下車徒歩15分  
神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

実施本部 フォーサイト21 606室 TEL 045-786-7115(開催日のみ)

関東支部総会講演会	: 3月14日 9:30~14:40 / 15日 9:00~16:20
学生員卒業研究発表講演会	: 3月14日 10:00~15:50
日本機械学会関東支部総会	: 3月14日 14:40~16:00
懇親会	: 3月14日 17:30~19:00

### 【特別講演】

3月14日 16:10~17:20 聴講無料

**モータースポーツにチャレンジ (世界最高のレーシングエンジンをつくる)**

講師/林 義正 (東海大学教授)

主催：(社) 日本機械学会関東支部 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35

問合せ：TEL:03-5360-3510, FAX:03-5360-3508, URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 10 期総会講演会

### 『メカトップ関東』第 107 巻より抜粋

第 10 期総会講演会は、2004 年 3 月 4～6 日に工学院大学新宿キャンパス（図 1）にて、10 周年記念大会として盛大に開催されました。例年、総会講演会は 2 日間で行われていましたが、今回は例年の企画に加えて、記念式典、記念パーティ、市民フォーラムが盛り込まれ、3 日間で行われました。実行委員会は、三浦宏文工学院大学学長を実行委員長として、工学院大学の教員で組織されました。実行委員会は支部に設けられた 10 周年運営委員会、工学院大学事務部が連携をとり、準備を進めました。

通常総会講演会は、258 件の申し込みがあり、14 室で講演会が行われました。総会は初日に行われました。第 10 期の事業報告、第 11 期の事業計画が承認された後、支部賞の表彰が行われました。功績賞 1 件、技術賞 3 件、貢献賞 1 件、学生奨励賞 1 件が表彰され、早山支部長より表彰状と記念品が贈呈されました。特別講演では、畑村洋太郎工学院大学教授をお迎えし、「失敗学のすすめ」をご講演いただきました。企業等の問題を題材に、トラブル発生・拡大のメカニズムやその根本原因をわかりやすく説明していただきました。

特別講演に続いて、10 周年記念式典および記念パーティが開催されました。記念式典は、日本機械学会歴代および現会長、関東支部歴代支部長、他支部の現支部長などを来賓としてお迎えし、行われました。早山支部長の開会の辞の後、田中重穂第 81 期日本機械学会会長、大橋秀雄工学院大学理事長（第 70 期日本機械学会会長）、

から来賓祝辞をいただきました。つづいて関東支部への貢献を表して 10 周年記念功労賞表彰 4 件、10 周年記念表彰（学生員増強）5 件、10 周年記念感謝状 15 件の表彰が行われ、早山支部長より表彰状または感謝状と記念品が贈られました。ひきつづき記念パーティが行われました。参加者が多く、大いに盛り上がり、10 周年記念パーティに相応しい雰囲気となりました。また、最終日には、「震災への備えは万全ですか」と題する創立 10 周年記念市民フォーラムが行われました。

詳細は、5.4 にメカトップ関東の全文を掲載いたしましたので、そちらをご覧ください。（抜粋：植田利久）



図 1 会場：工学院大学新宿キャンパス



図 2 畑村洋太郎工学院大学教授による特別講演



<第10期支部総会・講演会（併催：関東学生会第43回学生員卒業研究発表講演会）>

# 日本機械学会関東支部 創立10周年記念 第10期総会および総会講演会

[併催：関東学生会学生員卒業研究発表講演会]

開催日：2004年3月4日（木）/5日（金）/6日（土）

会場：工学院大学新宿キャンパス JR新宿駅より徒歩5分  
東京都新宿区西新宿1丁目24番地2号

■ 関東支部総会講演会

3月4日、5日、6日

■ 学生員卒業研究発表講演会

3月4日

■ 日本機械学会関東支部総会

3月4日 14:10～15:30

■ 10周年記念式典

3月4日 17:20～18:10

■ 10周年記念パーティ

3月4日 18:20～20:00

■ 市民フォーラム

「震災への備えは万全ですか」

片山恒雄（防災科学技術研究所理事長）

目黒公郎（東京大学生産技術研究所助教授）

3月6日 10:30～12:00

■ 特別講演「失敗学のすすめ」畑村洋太郎（工学院大学教授）

3月4日 15:40～17:10



主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35

お問合せ先 TEL.03-5360-3510 FAX.03-5360-3508

URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 関東支部第 11 期総会講演会を思い出して

実行委員長（関東能開大）

太田 正廣



企画委員の方々のご期待に応えられるか少々心もとない。当時筆者が所属していた大学の変革期に日本機械学会関東支部第 11 期総会講演会が開催された。会場名は、今は懐かしい東京都立大学南大沢キャンパス理工教室棟であった。講演会で思い出することができるのは、特別講演である。

開催当時の同僚から紹介された東京都立大学心理学の市原茂先生による”視覚の不思議”と題する特別講演を企画した。眼の錯覚あるいは頭の錯覚について具体例を出していただきながら丁寧な講演をしていただいた。同じ学内・同じキャンパス内に勤務していても文系の先生方とは滅多に顔を合わせることはない。その後もお会いした際には声をかけていただいている。非常に良い機会をいただいた。

北京にある中国科学院力学研究所 Ching SHEN 教授に”MEMS and Rarefied Gas Dynamics”と題する特別講演をしていただいた。二年毎に各国持ち回りで開催されていた希薄気体力学国際会議で筆者は初めて 1980 年代に SHEN 教授とお会い



した。SHEN 教授がたまたま関東支部総会講演会開催時に日本に滞在しておられたので、特別講演をお願いしたところ、快く引き受けてくださった。希薄気体力学は気体流動を分子レベルから考える流体力学の一分野である。最初は宇宙開発に応用された。希薄の度合いを表す Knudsen 数 (Kn 数) は気体分子の平均自由行程 (L) と場の代表寸法 (D) の比で表される。人口衛星が飛翔する宇宙では L が長く衛星の D が大きいと、Kn 数は大きくなる。1990 年代から、宇宙開発とは全く逆に、微小機械が作動する地上空気の L が小さくても、D が小さければ Kn 数は宇宙と同じレベルが実現している。SHEN 教授は希薄気体力学の成立前夜からその当時の最前線まで話をされた。筆者の自宅に SHEN 教授をお呼びして親交を深めた。自宅にピアノがあるのが分かると、楽譜無しでショパンを軽くお弾きになられた。お若い頃、ご自宅はかなり裕福だったのか、年代的に中国国内動乱の大変な時代を過ごされたのではないかと余計なことを考えてしまった。SHEN 教授はすでに鬼籍に入られた。冥福をお祈りしている。

東京都立大学はすでに無く、10 年ひと昔と言われるがまだ 10 年経過していない。2010 年に首都大学東京（東京都立大学）を定年退職して栃木県小山市内に勤務して早や 4 年目を迎えている。ちょっと北の空より日本機械学会と首都大学東京の隆盛をお祈りしている。

（左写真中、向かって右が SHEN 教授）

< 第 11 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 44 回学生員卒業研究発表講演会） >

# 日本機械学会 関東支部 第 11 期総会および総会講演会

併催：関東学生会第44回学生員卒業研究発表講演会

開催日 2005年3月18日(金), 19日(土)

会場 東京都立大学 南大沢キャンパス 理工教室棟  
(京王相模原線南大沢駅徒歩10分) / 東京都八王子市南大沢 1-1

関東支部第 11 期総会

3月18日(金)  
14:40~16:00

関東支部総会講演会

3月18日(金), 19日(土)

学生員卒業研究発表講演会

3月18日(金)

緊急集会【理事会・関東支部合同企画】

「設計の視点から見た構造健全性の保証 - 公共社会インフラの信頼性をいかに確保するか -」

3月18日(金) 10:00~12:10 理工教室棟204室  
参加費無料(ご自由にご来場下さい)

特別講演 1 3月18日(金) 16:10~17:20

視覚の不思議

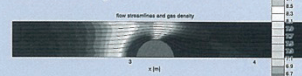
市原 茂 (東京都立大学 教授)



3月19日(土) 13:00~14:20 特別講演 2

MEMS and Rarefied  
Gas Dynamics

Prof. Ching SHEN  
(Chinese Academy of Sciences)



High speed flow of rarefied gas over a fine sphere in  
a micro circular tube

主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階 (社)日本機械学会内

お問合せ先 TEL 03-5360-3510 / FAX 03-5360-3508

URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 12 期総会・講演会・卒研発表会を担当して

松元 明弘（東洋大学）



日本機械学会関東支部が 20 周年を迎えたということでおめでとうございます。私は第 12 期の総会・講演会・卒研発表会の会場校を担当しました。担当してからだいぶ月日が経っておりますが、記録を紹介する機会をいただきましたので、当時を思い出しながらその一部をご紹介します。

第 12 期は 2006 年（平成 18 年）3 月 10 日（金）と 11 日（土）に、東洋大学川越キャンパスで開催いたしました。12 期の支部長は埼玉大学の佐藤勇一先生でした。講演件数は 247 件（参加者は招待者 19 名を含んで 464 名）でした。優秀な講演に対する表彰には新たな方式を採用し、機械学会本体からフェロー賞（若手優秀講演）3 名、また関東支部から優秀講演賞 3 名を表彰と、2 種類の表彰をしました。卒研発表会には 187 件（うち 4 件は取消し）の発表があり（参加は 344 名）があり、うち 19 名に BPA 賞の表彰をしました。合計で 800 名超の方々に参加いただき、会場担当としてはありがたく思いました。

特別講演には本学矢川元基教授（当時）に計算力学に関する講義をいただき、また特別展示として特に本田技研工業・ホンダ技術研究所のご協力により F1 レースカーと大型バイクを実物展示しました。F1 カーは歴代の 3 代を並べ、また 1000cc を超える排気量のバイクまで横に並んでいると、さすがに存在感があり、参加者の関心を引きました。

当時を振り返ると、会場校を担当する

関東支部事業幹事になって、学会運営も会場校運営も何もわからず手探りで過ごして大会を迎えた 1 年間でした。会場校を担当して大会運営する大変さと責任を痛感しました。が、支部長や副支部長をはじめとする支部の役員の方々、過去の事業幹事経験者や学会事務局の方々、および学内教職員など、多くの方の協力を得て、無事実施できました。苦労しましたが、その経験は貴重なもので、中でもここで得られた人的ネットワークは私にとっての財産となっております。

末尾ながら、関東支部の活動がますます活性化することを祈念いたします。



F1 カーと大型バイクの展示

# 日本機械学会 関東支部 第12期 総会および講演会

[併催：関東学生会 学生員卒業研究発表講演会]

開催日：2006 年 3 月 10 日(金), 11 日(土)

会場：東洋大学 川越キャンパス 1 号館・2 号館・4 号館  
埼玉県川越市鯨井 2100

交通：東武東上線「鶴ヶ島」駅下車，徒歩 10 分

## 特別講演

「計算科学技術の最近の動向と課題」

矢川元基（東洋大学教授）

3 月 10 日(金) 16:15 ～ 17:30 4号館 421教室

## 日本機械学会関東支部総会

3 月 10 日(金) 14:30 ～ 16:00 4号館 421教室

## 第12期総会講演会

3 月 10 日(金) 9:30 ～ 17:30

3 月 11 日(土) 9:30 ～ 17:00

## 関東学生会第45回学生員卒業研究発表講演会

3 月 10 日(金) 9:30 ～ 16:15

## 懇親会

3 月 10 日(金) 17:45 ～ 19:30

## 特別展示：本田技研工業(株)

3 月 10 日(金) 10:00 ～ 17:00

3 月 11 日(土) 10:00 ～ 16:00

## 機器・カタログ展示

3 月 10 日(金) 10:00 ～ 17:00

3 月 11 日(土) 10:00 ～ 16:00

主催：(社)日本機械学会 関東支部 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階 (社)日本機械学会内

お問合せ先：TEL 03-5360-3510 FAX 03-5360-3508 URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 13 期支部総会・講演会・ 卒業研究発表講演会の思い出

実行委員長（宇都宮大学大学院工学研究科）  
杉山 均



関東支部が設立され 20 周年を迎えたことと祝意を申し上げたいと思います。第 13 期支部総会・講演会・卒業研究発表会について、当時の資料を振り返りつつ、ここに個人的な思い出を紹介したいと思います。

第 13 期の支部総会は、宇都宮大学峰キャンパスにて 2007 年 3 月 16 日、17 日に開催されました。記録によれば講演 275 件、卒業研究発表 213 件と報告されています。6 年過ぎた今でも鮮明に覚えているのは、講演論文 5 件の落丁です。講演当日に落丁に気づき謝罪のため会場を走り回った記憶が甦ります。落丁に気づかれた講演者の方々の心境は、まさに晴天の霹靂、察するに余りあると思います。会場にて直接、謝罪できなかった方もおられました。この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。同時に落丁した講演論文の事後処理も脳裏をかすめましたが、学会事務の迅速かつ献身的な対応により、講演会終了後に別冊として参加登録者に送付して頂いたことも思い出されます。5 件の論文を収めた別冊にはたくさんの思い出が詰められています。

特別セッションの企画、準備も思い出されます。久保田支部長には無理をお願いして「技術者と学会」と題して二日にわたり講演をして頂きました。女性エンジニア・フォーラムでは、上司の方にも参加して頂きました。学生によるものづくり展示では県内外の高専、大学から 9 件の、特別展示では 2 社から展示をして頂きました。



【久保田支部長による講演】



【女性エンジニア・フォーラム】



【特別展示（Formula 車両）】



【特別展示（ごみ収集特殊車両）】

顧みますと支部長をはじめ、会員各位、関東支部事務職員、栃木ブロックメンバー、機械システム工学科教職員、学生と多くの方々のご理解とご協力あつての事業と痛感致します。この紙面をお借りして皆様に心より謝意を表したいと思います。

## (社)日本機械学会 関東支部

# 第13期総会および総会講演会

併催：関東学生会 第46回学生員卒業研究発表講演会

開催日：2007年3月16日(金)、17日(土)

会場：宇都宮大学 峰キャンパス

(〒321-8505 宇都宮市峰町350 交通：JR「宇都宮駅」下車、バスにて15分)

### 特別講演：

「社会の安全向上のために

— 安全評価法、合理的な対策、事故調査 —」

松岡 猛(宇都宮大学教授)

3月16日(金)16:20~17:35 1223番教室

### 日本機械学会関東支部総会

3月16日(金)14:30~16:00

1223番教室

### 第13期総会講演会

3月16日(金)10:00~17:35

3月17日(土)9:15~17:45

### 関東学生会第46回学生員卒業研究発表講演会

3月16日(金)9:15~16:10

### 懇親会

3月16日(金)17:50~19:35

大会館

### 学生ものづくり展示

3月16日(金)10:00~16:00

3月17日(土)10:00~15:00

### 機器・カタログ展示

3月16日(金)10:00~16:00

3月17日(土)10:00~15:00

主催：(社)日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階(社)日本機械学会内

お問合せ先：TEL:03-5360-3510 FAX:03-5360-3508

URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 14 期総会講演会

実行委員会幹事（東京海洋大学）  
塚本 達郎



第 14 期総会講演会は、2008 年 3 月 14 日（金）、15 日（土）に東京海洋大学の越中島キャンパスにて開催されました。東京海洋大学は、2003 年 10 月に東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生しました。海洋工学部と海洋科学部の 2 学部で構成されており、会場となった越中島は、海洋工学部（旧東京商船大学）のキャンパスとなっています。東京商船大学は、1875 年に三菱商船学校として設立されて以来 140 年近い歴史を持っています。かつては、船舶職員（航海士、機関士）の教育が中心でしたが、現在は、海事システム工学科、海洋電子機械工学科、流通情報工学科の 3 学科で構成され、船員養成のみならず、船、海、物流に関連した幅広く実践的な工学の知識と技術を身につけたエンジニアを育てる教育・研究を行っています。

開催前年度の 2006 年夏に副支部長の宇高義郎先生（横浜国大）、庶務幹事の水野毅先生（埼玉大）からお話をいただき、1 学年の定員が 175 名の小規模学部のため講演会場の確保を心配しましたが、キャンパス内のほぼすべての教室を使用する目途が立ち、お引き受けすることになりました。実行委員会は、東京海洋大の志摩政幸教授を委員長として、海洋大 15 名、近隣の芝浦工大 4 名、IHI 1 名、前回開催校の宇都宮大 1 名の計 21 名にて構成し、準備に当たりました。

当日は、1 日目があいにくの雨模様となりましたが、2 日目には天候も回復し、総

会講演会には 466 名、卒業研究発表会には 443 名、合計 909 名の方にご参加いただきました。講演件数は基調講演 4 件を含めて 241 件となり、特別講演は「新南極観測船“しらせ”の開発と今後の展望」と題して北川弘光先生（文科省南極輸送問題調査会議座長）にご講演いただきました。

「しらせ」模型や船用過給機の特別展示船用 2 ストロークディーゼル機関実験実習装置の公開、特別企画として公開しました重要文化財「明治丸」および商船教育史とその周辺の海事史にまつわる資料を展示した百周年記念資料館にも多数の方の見学がありました。また懇親会では、築地に近いこともありマグロの解体実演を行い、参加者に刺身を堪能していただきました。最後になりましたが、開催にご協力いただきました関係各位に感謝いたします。



新南極観測船「しらせ」模型展示



重要文化財「明治丸」



< 第 14 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会） >

# （社）日本機械学会 関東支部 第 14 期総会および総会講演会

併催：関東学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会

開催日：2008 年 3 月 14 日（金）、15 日（土）

会場：東京海洋大学 越中島キャンパス

〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6

JR 京葉線 越中島駅 下車、すぐ

東京メトロ 東西線 門前仲町駅、有楽町線 月島駅 下車徒歩 10 分

都営地下鉄 大江戸線 門前仲町駅、月島駅 下車徒歩 10 分

## 特別講演

「新南極観測船“しらせ”の開発と今後の展望」

北川弘光（文部科学省南極輸送問題調査会議座長）

3 月 14 日（金）16:20～17:30 越中島会館 講堂

日本機械学会関東支部総会

3 月 14 日（金）14:30～16:00

越中島会館 講堂

第 14 期総会講演会

3 月 14 日（金）10:00～17:30

3 月 15 日（土）9:00～17:00

関東学生会第 47 回学生員卒業研究発表講演会

3 月 14 日（金）9:15～16:10

懇親会

3 月 14 日（金）17:45～19:30

八十五周年記念会館

機器・カタログ展示

3 月 14 日（金）10:00～16:00

3 月 15 日（土）10:00～15:00

特別企画「海と機械」

重要文化財 明治丸 公開

百周年記念資料館公開

南極観測船「しらせ」模型展示

船用機械展示

3 月 14 日（金）10:00～16:00

3 月 15 日（土）10:00～15:00

主催：（社）日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階（社）日本機械学会内

お問合せ先 TEL：03-5360-3510 FAX：03-5360-3508

URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 日本機械学会関東支部第 15 期総会講演会を振り返って

実行委員会幹事（茨城大学工学部）  
田中 伸厚



日本機械学会関東支部第 15 期総会講演会は、2009 年、7 日（土）に茨城大学の水戸キャンパスにて開催されました。例年本講演会は 3 月中旬に行われるのが通例ですが、3 月上旬ごろまでが借楽園の梅の見ごろとあって、少し時期を早めて実施しました。1 日目はあいにくの雨でしたが、2 日目は快晴に恵まれ、特に夜には借楽園で「夜梅祭」が行われ、昼間とはまた違ったライトアップされた夜の梅を鑑賞していただくことができました。

本題の講演会に関しましては、総会講演会には 466 名の参加があり、発表件数は 255 件にのぼり各会場で活発な議論が行われました。また、併催の卒業研究発表講演会には 423 名の参加があり、260 件の発表が行われました。特に学部を卒業して就職する学生にとって貴重な学会参加の機会になったものと思われます。その学生のうち 26 名はベスト・プレゼンテーション賞を受賞しています。

企画イベントに関しましては、特別講演として、日本を代表する地球環境変動の研究者である茨城大学教授の三村信男氏に地球温暖化の影響と国際的な取り組みに関して感銘深い講演をいただきました。また、茨城県として力を入れているマグネシウム利用技術の状況に関して茨城マグネシウム工業会会長の宮本隆氏に熱意あふれる講演をしていただきました。特別企画展示では、そのマグネシウム利用技術の展示の他、環境対策自動車の展示や茨城県と

関連の深い原子力関連技術の展示を行い好評を得ることができました。また、あまり知られていませんが、茨城県は東京から近く、様々な建造物や豊かな自然などがあるため、映画の撮影場所として頻繁に利用されています。当日は、そのような映画の上映も行い、盛りだくさんの内容となりました。

この講演会が開催されてから 2 年後に東日本大震災が起こりました。本学は震源に比較的近い（特に日立キャンパス）こともあり、キャンパス設備や機器などが甚大な被害をうけました。また、その後の放射性物質の拡散についても対応を余儀なくされました。震災発生から 2 年半が経過し、大学は以前の姿に戻りつつありますが、一方でそれをきっかけとして「地域の復興支援」という新たな役割も加わりました。近くにお越しの機会がありましたら、本学にお立ち寄りになり、ぜひその様子をご確認ください。



図1 環境対策自動車の展示

**(社)日本機械学会 関東支部**

# 第15期総会および総会講演会

**併 催：関東学生会 第48回学生員卒業研究発表講演会**

**開催日：2009年3月6日（金）、7日（土）**

**会 場：茨城大学 水戸キャンパス** (〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1)

交通：JR水戸駅北口⇒①7番乗り場のすべてのバス、②5番乗り場「新原経由茨大行き」「常盤小学校経由茨大行き」。  
いずれも約30分⇒茨大前下車（「大宮行き」のみ文京町下車）。徒歩約5分。

特別講演・企画・展示テーマ

## ～世界に向けて発信する茨城～

特別講演：3月6日（金）

16:00～18:00

(1) 「地球温暖化の影響と国際的な取り組み」

三村信男（茨城大学教授）

(2) 「マグネシウムの茨城が世界を変える」

宮本 隆（茨城マグネシウム工業会会長）

### 日本機械学会関東支部総会

3月6日（金）  
14:30～16:00

### 第15期総会講演会

3月6日（金）10:00～14:30  
3月7日（土）9:00～17:00

### 関東学生会第48回学生員 卒業研究発表講演会

3月6日（金）9:00～16:00

### 特別展示

- (1) 環境対応自動車
- (2) マグネシウム関連技術
- (3) 原子力（J-PARC）
- (4) 映画上映（茨城県関連）
- (5) 茨城県物産展

### 機器・カタログ展示

3月6日（金）10:00～16:00  
3月7日（土）10:00～16:00

### 懇親会

3月6日（金）18:30～20:00

（会場、時間、プログラムなどの最新情報は、<http://kanto15.mech.ibaraki.ac.jp/> をご覧下さい。）

主催：（社）日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階（社）日本機械学会内

お問い合わせ：TEL：03-5360-3510 FAX：03-5360-3508

URL <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 16 期総会講演会

実行委員会幹事（明治大学）  
小林 健一



日本機械学会関東支部 20 周年おめでとうございます。

第 16 期総会講演会は、東京ではめずらしい雪がちらつく中、2010 年 3 月 10 日（水）・11 日（木）に明治大学の駿河台キャンパス・リバティタワーにて開催されました。併催の卒業研究発表講演会と計 980 名の方にご参加いただき、講演件数は、OS（13 セッション）・一般講演併せて 264 件、特別講演は本学の北野大教授にお願いし、250 名にご参加いただきました。また、懇親会には 150 名を超える方々にご参加いただきました。日本機械学会の「若手優秀講演フェロー賞」に 5 名、関東支部の「優秀講演賞」にも 5 名をそれぞれ推薦いたしました。

それまで支部行事にはほとんど参加したことがなかったので、実行委員長の大亦先生と第 15 期の講演会開催地水戸へ出かけ、規模の小さな年次大会だと気がつき、われわれの大学で本当に引き受けられるのか、これは大変だとあわてたものです。

事務局にこられたばかりでいきなり関東支部担当となられた大通さんに、「このやり方を前例だと思わないで下さいね。」と、いくつもの無理をお願いしながら準備を進め、総会講演会と卒業研究発表講演会の二つの講演会および関東支部の総会開催に何とかこぎ着けることができました。

ところで、明治大学理工学部のキャンパスがどこにあるかご存じでしょうか。理工学部は、川崎市の北部小田急線の生田駅から徒歩 10 分の山の上、生田キャンパスにて 1 年生から大学院生まで教育・研究をしています。良い意味で緑に囲まれた環境ですが、現代の学生には登校路にそびえる坂道が苦行と写るようです。このため、理工学部の教員・学生が講演会を開催した駿河台キャンパスを利用するのは式典の時ぐらいであり、駿河台へ行くと教室がわからずに迷い、生田キャンパスと比べて同じ大学なの?!という状態でした。皆様をお迎えするに当たり、教卓設備の使い方やコンビニの場所まで調べて学生に周知し準備を進めたものです。手伝ってくれた学生にも大きな講演会の運営とともに、駿河台キャンパスにも多少慣れることができ、よい経験が積めたのではと思います。機会がありましたら明治大学生田キャンパスへもお出かけ下さい。

これからも、部門や専門の枠を超えた交流のできる場として、関東支部のますますのご発展を願っています。



# 日本機械学会 関東支部 第16期総会および総会講演会

併催：関東学生会第49回学生員卒業研究発表講演会

## 2010年3月10日（水）/11日（木）

明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー  
（東京都千代田区神田駿河台1-1）

JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 徒歩3分  
東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 徒歩5分  
都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 徒歩5分

### ■特別講演

3月10日（水） 17:10～18:10 聴講無料

「化学物質を安全に用いるには  
化学物質の安全対策とリスクコミュニケーション」

北野 大（明治大学教授）



### ■日本機械学会関東支部総会

3月10日（水） 15:30～17:00

リバティタワー1階 リバティホール

### ■第16期総会講演会

3月10日（水） 9:00～15:30

3月11日（木） 9:00～17:00

### ■関東学生会第49回学生員卒業研究発表講演会

3月10日（水） 9:00～15:30

### ■懇親会

3月10日（水） 18:30～20:30

リバティタワー23階 岸本辰雄記念ホール

主催：（社）日本機械学会 関東支部

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階 日本機械学会内  
TEL (03) 5360-3510 FAX (03) 5360-3508 URL: <http://www.jsme.or.jp/kt/>

## 第 17 期総会講演会につきまして

実行幹事（慶應義塾大学）  
堀田 篤



2011年3月18,19日に慶應義塾大学日吉キャンパスに於いて第17期総会講演会を開くこととなっていた。たしか、その1年半ほど前の2009年度に、JSME 関東支部事業幹事に私が内定した。私は2005年に海外から本塾大学に着任し、当時はまだ在職4年ほどしか経っておらず、このような大きな学会の実行役となるのは誠に不安であった。しかし、私の所属する本塾機械工学科は、JSME 関連を含め、これまでも多くの学会運営に携わっており、諸先輩からのサポート体制は万全であり、また自分自身にとっても貴重な経験になると捉え、お引き受けさせていただいた次第である。このように、私としてはほぼ初めてとなる学会運営が、ここまで記憶に残る経験になるとは、当時、私も含め誰も予想できなかったことであろう。第17期総会講演会および関東学生会第50回学生員卒業研究発表会は、あの東日本大震災のちょうど1週間後の開催を予定していたのである。

ここで第17期総会講演会の主要な実行委員を紹介させていただく。すべて本塾機械工学科の教員であるが、まずは実行委員長に植田利久教授、そして実行幹事に荻原直道専任講師、竹村研治郎専任講師、横森剛専任講師、そして私である（職位は当時のもの）。本主要な実行委員とJSMEの大通千晴氏は、ミーティングを何度も重ね、開催1週間前には総会講演会および学生会に向けて準備万端な状態となっていた。そしてあの大地震が起こった。誰も経験し

たことのない状況下、被災状況も正確な情報が入らない状態で、学会開催につき判断を急がねばならなかった。そして最終的に開催中止ということになったのである。

もし開催されていたならば、それまでにならぬ大きな大会となっていたであろう。講演件数は288件、学生会の方も316件となり、当時はどちらも、それまでの最多の講演申込件数となっていた。さらにはOS（オーガナイズドセッション）も17セッション、機器展示数も9件という多数に及んだ。また、当時やや複雑であった学会参加登録料を単純化したことも大きな成果の1つではないかと自負している。

慶應義塾は2008年に創立150周年を迎えていた。それを記念して建てられた校舎の1つが独立館（下図）であり、第17期総会講演会および学生会の会場となっていた。特別講演には谷下一夫氏（本塾元理工学部教授・現名誉教授）による「先端医療に必要とされる機械工学デシプリン」の講演が予定されていた。大地震ですべてがキャンセルとなったが、その経験は我々にとって忘れられない貴重なものとなった。



< 第 17 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 50 回学生員卒業研究発表講演会） >

## 日本機械学会 関東支部 第 17 期

# 総会講演会

主催： 社団法人 日本機械学会 関東支部

日時： 2011 年 3 月 18 日(金)～19 日(土)  
※同時開催： 第 50 回学生員卒業研究発表講演会

会場： 慶應義塾大学 日吉キャンパス 独立館  
〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1  
※アクセス： <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

HP： <http://www.jsme.or.jp/conference/ktconf11/index.html>

特別講演：「先端医療に必要とされる機械工学デシプリン」



谷下 一夫

慶應義塾大学理工学部  
システムデザイン工学科 教授



社団法人 日本機械学会 関東支部

## 第 18 期総会・講演会・卒研発表会を振り返って

実行委員長（日本大学・生産工学部）  
邊 吾一



第 18 期の総会講演会と卒研発表会は 2012 年 3 月 9 日と 10 日に日本大学生産工学部で開催された。本学部で日本機械学会の大きな行事を行うのは、1995 年に開催された第 73 期通常総会講演会以来 17 年ぶりで、総会講演会と卒研発表会のスムーズな開催とその成功のため、機械工学科の教員メンバーを中心に実行委員会を結成した。

前年度の慶応大学での大会が東日本大震災のために開催中止となったため、2 年ぶりの開催であった。そのこともあり、会期の初日はあいにく朝から冷たい雨が降っていたが、多くの方々の参加をいただき、支部の総会講演会が始まって以来、初めて講演申し込み数と卒研発表会講演申し込み数が共に 300 件を超え、参加者も総会講演会と卒研発表会がそれぞれ 500 名を超えた。

また、支部の講演会と卒研発表会を同じ建物(37 号館)の中で開催することができたので、雨の中の移動もなく、両方の会場へのアクセスが容易で、参加者の利便性が高まった。

初日には日本大学教授景山一郎先生の特別講演「自動車の安全技術の変遷と将来展望」を実施し、参加者は 100 名を超え、特に学生員から好評をいただいた。2 日目の午後は生産工学部との共催で公開講座を実施し、日本大学医学部准教授佐貫榮一先生から「セシウムを含めた放射性物質の人体への影響」の講演をいただき、近隣の住民を含めて 150 名以上の多数が参加し、大震災から 1 年後の大きな関心事のテーマを熱心に聴講した。

最近の総会講演会では大学院生の発表が

多く、彼らの大半は講演集を購入しないことから必要印刷部数の見込みが立たなく、講演会の収支を圧迫するだけでなく、残った多くの講演集の保管にも費用が掛かっていた。そこで、今回の総会講演会から学生員の参加費は従来通りに無料とし、講演発表者は必ず講演集(2000 円)を購入することとし、印刷部数を 500 冊とした。しかしながら、発表者以外に購入者が増えたため、論文集が足りなくなり、実行委員の論文集を渡したりしたが、それでも不足して、70 部増刷し、講演集を当日配布できなかった購入者に後日郵送する措置をした。また、実行委員の努力により、広告掲載、機器及びカタログ展示も合わせて行い、講演会収支の黒字化に貢献した。

大会初日の懇親会は、本学部の学生食堂で行ったが、155 名と多くの方の出席をいただき、盛大に開催された。本学部校友会機械部会から鏡割りのお酒の寄贈をいただき、乾杯の前に鏡割りを行って、懇親会は大いに盛り上げ、懇親会を成功裏に終了した。



写真 実行委員会メンバーと  
アルバイトの大学院生



< 第 18 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 51 回学生員卒業研究発表講演会） >

## 日本機械学会 関東支部 第18期

# 総会講演会

主催：一般社団法人 日本機械学会 関東支部

日時：2012年3月9日(金)～10日(土)

※同時開催：第51回学生員卒業研究発表講演会

会場：日本大学生産工学部 津田沼キャンパス 37号館

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1

※アクセス <http://www.cit.nihon-u.ac.jp/access>

HP：<http://www.jsme.or.jp/conference/ktconf12/index.html>

特別講演：「自動車における安全技術の変遷と将来展望」



景山 一郎

日本大学生産工学部

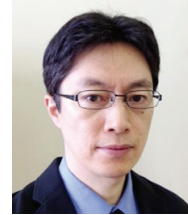
機械工学科 教授



一般社団法人 日本機械学会 関東支部

## 首都大学東京での第 19 期総会講演会の開催

実行委員長（首都大学東京）  
首藤 登志夫



日本機械学会関東支部の第 19 期総会講演会は、2013 年 3 月 15～16 日に首都大学東京で開催されました。

総会講演会では一般セッションの他に 12 分野のオーガナイズドセッションを企画して 5 カ月程前から講演を募集しました。企画したオーガナイズドセッションは、「実験力学とその応用」、「バイオエンジニアリング」、「高分子系複合材料の成形と力学的特性」、「機械工学が支援する微細加工技術」、「流れの計測と制御」、「熱流体工学のフロンティア」、「環境と調和したエネルギー利用」、「振動騒音および制御」、「溶射技術とその応用」、「ロボティクス・メカトロニクス」、「知的財産権」、「技術教育・工学教育」といった機械工学の応用技術動向を反映したものであり、オーガナイザーの多くを本学の実行委員が担当する形式を採りました。幸いにしして締切日を延長することなく 309 件という多数の講演申込を頂き、オーガナイズドセッションと一般セッションを合わせて 69 のセッションを 14 室で開催することができました。

講演会当日は、天候にも恵まれて快晴のなか総会講演会に 547 名、卒業研究発表会に 558 名という多数のご参加を頂きました。講演会初日には特別講演を企画し、本学の海老原充教授による「惑星探査機はやぶさが小惑星イトカワから回収した粒子と福島原発事故で首都圏に到達した放射性物質の分析」と題した講演を行い盛況となったほか、懇親会にも約 150 名という多

数の方にご参加頂きました。

総会講演会の会場となった南大沢キャンパスは、東京都立大学が目黒区からこの地に移転した 1991 年に開かれたもので、現在は首都大学東京のメインキャンパスとなっています。このキャンパスでは 2005 年 3 月にも関東支部の第 11 期総会講演会が開催されており、第 19 期総会講演会は 8 年振りでの 2 度目の開催となりました。

東京都立大学は、2005 年に都立科学技術大学および都立保健科学大学と統合して首都大学東京という名称に変わりましたが、その後も東京都立大学の伝統を引き継ぐ総合大学として多様な研究分野を擁しています。なかでも理工系はとくに充実しており、理学系の 5 専攻に加えて、工学系の幅広い分野の 12 専攻があります。

第 19 期総会講演会の実行委員会は、本学の機械工学専攻、航空宇宙工学域、ヒューマンメカトロニクス学域、経営システム学域に所属する教員で構成しました。この中には東京都立大学として開催した第 11 期総会講演会の運営を経験している教員も多く、スムーズな運営が可能となりました。実行委員会の中心となった機械工学専攻は、東京都立大学の機械工学専攻を基としており、現在は 15 研究室の体制で機械工学の研究分野をおおよそ網羅しています。

首都大学東京で開催した第 19 期総会講演会にご参加頂いた方々に厚くお礼申し上げます。

< 第 19 期支部総会・講演会（併催：関東学生会第 52 回学生員卒業研究発表講演会） >

## 日本機械学会 関東支部 第19期 総会講演会

主催：一般社団法人 日本機械学会 関東支部

日時：2013年3月15日(金)～16日(土)

同時開催 第52回学生員卒業研究発表講演会

会場：首都大学東京 南大沢キャンパス

東京都八王子市南大沢1-1

(京王線相模原線「南大沢」駅から徒歩約5分)

特別講演：「惑星探査機はやぶさが小惑星イトカワから回収した粒子と  
福島原発事故で首都圏に到達した放射性物質の分析」

首都大学東京大学院理工学研究科 教授 海老原 充

一般講演・OS：講演申込期限 2012年11月2日(金)

講演論文原稿期限 2013年1月10日(木)

詳細は日本機械学会関東支部ホームページを参照( [www.jsme.or.jp/kt/](http://www.jsme.or.jp/kt/) )



一般社団法人

日本機械学会 関東支部

The Japan Society of Mechanical Engineers, Kanto Branch



首都大学東京

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY